



Hokkaido Lifelong Learning Association

# ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

## 新しい自分との

## 出合いや発見がきっとある



〈情報交流広場の展示を見る小学生〉



〈本部ボランティア会議〉



〈出前講座～伊達市～〉



〈出前講座～せたな町～〉

## 目次

- 「道民カレッジ」からのお知らせ ..... 2
- 「ほっかいどう学」検定
- 「ほっかいどう学」大学放送講座 ..... 3
- 「ほっかいどう学」出前講座
- 「ほっかいどう学」かでの講座 ..... 4
- ・生きがづくり生涯学習促進事業 ..... 5
- ・「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業
- ・随想10 ..... 6
- ・情報交流広場展示コーナー

# 「道民カレッジ」からのお知らせ

道民カレッジは、産官学が連携して道内各市町村で行われる様々な学習機会を体系化することにより、道民が自らの意思によって学び、自立した北海道の創造に寄与する人材を育成することを目的としています。

◇「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする生涯学習の学園です。だれでも、いつでも入学できます。◇道内のいろいろな場所で開催されている講座に参加できます。

◇自分で学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、地域などで生かすことができます。

## 一、平成二十一年度後期連携講座申し込み状況

- 団体等の申込み状況 一七〇団体
- ・市町村 一八団体
- ・高等教育機関等
  - 大学・短大・高専 二五団体
  - 高等・特別支援学校 三九団体
  - 専修・各種学校 二三団体
- ・各種団体・民間教育業者・企業 五〇団体
- ・その他関係機関 一五団体
- コース別講座数 八三四講座
  - ・ほっかいどう学 八九講座
  - ・能力開発 一五六講座
  - ・環境生活 一三一講座
  - ・健康スポーツ 一一六講座

- ・教養 二五〇講座
- ・高等学校等 九二講座

## 二、後期ガイドブック発行予定

九月中旬以降に、各市町村教育委員会、図書館等に送付いたします。

## 三、道民カレッジボランティア活動

(財)北海道生涯学習協会では、道民カレッジの充実、発展をめざすとともに、ボランティア自身の自己実現を図るために、ボランティア活動を支援し、全道各圏域ごとにボランティアを組織し、活発な活動を奨励しています。

## 道民カレッジボランティアの活動方針

「道民カレッジボランティア活動を通して、学ぶ喜びの輪を広げよう」

### (1) 本部ボランティア

・組織活動グループ、講座活動グループ、広報活動グループに分かれて自主的な活動を展開しています。

・毎日事務局に常駐（午前十時～午後三時）して、道民カレッジ生の学習相談に応じてます。

### (2) 地方ボランティア

・道央圏（札幌）、道北圏（旭川）、道南圏（函館）、十勝圏（帯広）、根釧圏（釧路）、オホーツク圏（北見）ごとに計画的に活動を行っています。

(3) 道民カレッジ事務局では、ボランティアの募集を行っています。学びを通して自分の生きがいを見つけませんか。

## 締切せまる！

「ほっかいどう学検定」  
「ほっかいどう学検定」

ほっかいどう学検定は、北海道をよく知ることを北海道づくりの基本とし、北海道を理解し、北海道を愛し、北海道の創造的発展の主体となる道民を育てることを目指すものです。

◇締切日 平成二十一年九月三十日(水)

◇検定実施日

平成二十一年十一月一日(日)

午前十時三十分・午後二時

◇検定会場

札幌会場「北海道大学」

旭川会場「旭川医科大学」

函館会場「函館大学」

帯広会場「とかちプラザ」

釧路会場「北海道教育大学釧路校」

◇出題領域

・北海道の歴史・文化

・北海道の自然環境

◇検定の種類と検定料(各領域とも)

入門検定(基礎知識編)

五〇問(六〇分)

一般

大学生

高校生以下

上級検定(応用編)

一〇〇問(九〇分)

一般

高校生以下

◇対象

北海道に興味関心のある道民及び全国の人々

## 事前講習会

時 九月六日(日)

所 北海道大学

## 事前講習会受講料

一、五〇〇円

## 公式問題集

料金一、〇〇〇円(消費税込み)

## 受検申込み・問い合わせ

「ほっかいどう学検定推進機構」事務局まで

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目

かてる2・7

電話 011-231-4111

(内線) 36-343・370

FAX 011-281-6664

Eメール college@hsgk.jp

## その他

・検定合格者には、生涯学習を支援するコーディネーターとして学校や地域での講師、ボランティア等、ふるさとへの愛着と誇りを持って、北海道づくりへ貢献することが期待されます。

・道民カレッジ生には次のように「ほっかいどう学コース」の単位が認定されます。

事前講習会の受講 4単位

入門検定 1単位

上級検定 2単位

## 主催

「ほっかいどう学検定推進機構」

## 後援

- 北海道観光振興機構
- 北海道農業協同組合中央会
- 北海道漁業協同組合連合会

平成21年度 道民カレッジ「ほっかいどう学」大学放送講座のお知らせ

放送日時	大学名・講師名	テーマ
第1回 10月3日(土) 再放送 10月9日(金)	北海道医療大学 西基 教授	歯磨きで医療費ダウン! ～鹿追町の健康計画～
第2回 10月10日(土) 再放送 10月16日(金)	北海道教育大学函館校 小栗 祐美 教授	江戸のリアリズム ～蠣崎波響とその時代
第3回 10月17日(土) 再放送 10月23日(金)	北海道大学 川初 清典 教授	北海道らしい健康運動 ～新しいウォーキングを 考える～
第4回 10月24日(土) 再放送 10月30日(金)	東京農業大学生物産業学部 塩本 明弘 教授	北海道と温暖化 ～サロマ湖の水質への影 響～
第5回 10月31日(土) 再放送 11月6日(金)	旭川大学 松浦 智和 助教	すべての人々に健康と幸福を ～ヘルスプロモーション の可能性と課題～
第6回 11月7日(土) 再放送 11月13日(金)	北海学園大学 菅原 秀幸 教授	グローバル化の波にのれ! ～北海道経済の可能性と 課題～
第7回 11月14日(土) 再放送 11月20日(金)	北翔大学 稲田 尚史 教授 村瀬嘉代子 教授	こころの健康のために ～北海道における 心理臨床を考える～
第8回 11月21日(土) 再放送 11月27日(金)	北海道情報大学 西平 順 教授	北海道ブランドの健康食品 ～動き出したさっぽろ バイオクラスター構想～

◇放送日(十月三日) HBC  
・毎土曜日 午前五時  
◇再放送(十月九日)  
・毎金曜日 午前一時五十六分

◇二冊 一、〇〇〇円

▼大学放送講座テキスト販売中  
・大学放送講座の参考書として購入い  
ただき、三十分間のテレビ視聴をされ  
た後、レポートを提出しますと一レポ  
トにつき必修一単位が認定されます。

☆ほっかいどう学BBB  
・HBCが北海道総合通信網株式会社  
と共同制作するインターネット動画サ  
イトです。(http://manabihonet.co.jp)  
今年度の大学放送講座を視聴するこ  
とができます。  
開設期間は、十月十二日から三月三  
十一日までです。

「ほっかいどう学」大学放送講座

平成21年度「ほっかいどう学」出前講座開催地一覧

回	開催地	会場	実施期日	テーマ(地域課題)
1	せたな町	町民ふれあいプラザ	平成21年6月9日	利別川をとおして地域住民の郷土愛を醸成
2	伊達市	伊達市防災センター	平成21年8月22日	世界遺産候補「縄文遺跡群」を学ぶ
3	釧路町	遠矢コミュニティセンター	平成21年9月26日	自分の町の宝を振り起こそう
4	幕別町	幕別町忠類	平成21年9月26日	森林浴・日光浴・温泉入浴と植樹の集い
5	網走市	オホーツク文化交流センター	平成21年9月10日 11日	ボランティアに役立つカラーコーディネート
6	羽幌町	羽幌町中央公民館	平成21年10月6日	シニア世代の地域づくり～ボランティア～
7	月形町	月形町交流センター	平成21年10月24日	まちづくりに必要なコミュニケーションとは
8	根室市	春国袋原生野鳥公園他	平成21年10月25日	ねむろの自然の魅力を再発見
9	音更町	音更町文化センター	平成21年11月19日	生涯学習を推進するまちづくり、人づくり
10	中頓別町	中頓別町民センター	平成21年11月	食と健康～生活習慣病の予防～
11	奈井江町	奈井江町文化ホール	平成22年2月	健康と教育と大学の連携によるまちづくり
12	鹿部町	鹿部中央公民館	平成22年2月18日	温泉活用のまちづくり

「ほっかいどう学」出前講座は、道民カレッジで学んだ知識や技術を具体的に地域づくりの実践に結びつけていくプロセスを体験的に学ぶことをねらいとして実施します。  
参加者がそれぞれの「まち」の地域課題や生活課題について、積極的に発言するなど主体的に参加することが望まれます。

「ほっかいどう学」出前講座

道民カレッジ連携講座《指定講座》

# 『ほっかいどう学』かでの講座

～テーマ「生きがいは心と体の健康から」～

会場 道民活動センター（かでの2・7 520研修室） 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目

定員・対象 100名（どなたでも参加できます。）

単位認定 道民カレッジの指定講座として必修1単位、または「ほっかいどう学」コース2単位のいずれかを選ぶことができます。

受講料 1講座受講1,000円（全講座受講の場合は、8,000円）

※受講料は、受講当日に納入してください。

**1回目** 9月14日（月）13：30～15：30 520研修室

テーマ「あっ！と驚く歯の話」

～一生自分の歯で噛むためには～

象は歯をなくした時が寿命です。人が歯をなくすとどうなるか考えてみましょう。

講師 北海道医療大学歯学部  
教授 千葉逸朗氏

**2回目** 9月24日（木）13：30～15：30 520研修室

テーマ「笑顔の効用」

～笑顔は最高の教養です～

口角が10度上がると人生変わります！笑顔と挨拶は自分から…

講師 株式会社 笑顔塾  
代表取締役 小菅美恵子氏

**3回目** 10月13日（火）13：30～15：30 520研修室

テーマ「手軽な運動で関節の痛みを解す」

～運動で痛みを予防し、痛みを改善する～

誰でも手軽にできる運動療法のしくみをご紹介します

講師 しょうがい予防研究所オフィスアスリートワン  
理学療法士 平田光司氏

**4回目** 10月20日（火）13：30～15：30 520研修室

テーマ「ピンピンコロリ運動でメタボ解消」

～体力づくり法・精神安定法・音楽療法など～

ピンピンと生きてコロリと死ぬための実践行動を展開中です

講師 PPK研究所  
所長 佐藤光男氏

**5回目** 11月9日（月）13：30～15：30 520研修室

テーマ「マイペースの健康づくり」

～頑張らないスポーツのすすめ～

生活の中で楽しく体を動かすことの効果と方法をご紹介します

講師 北海道文教大学人間科学部  
教授 侘美靖氏

**6回目** 11月24日（火）13：30～15：30 520研修室

テーマ「音と気」

～生の音楽（バイオリン演奏）と気～

生の音楽のすばらしさと「気」、演奏を交えながらお伝えします

講師 札幌交響楽団コンサートマスター  
大平まゆみ氏

**7回目** 12月7日（月）13：30～15：30 520研修室

テーマ「ハーブと健康」

～寒い冬を元気に過ごすためのハーバルライフ～

冬の健康に役立つハーブと食材の上手な利用法について

講師 レインボーハーブ・アロマスクール  
坂戸洋子氏

**8回目** 12月15日（火）13：30～15：30 520研修室

テーマ「林がもっている色々な意味とちから」

～ある里山の手入れで学んだこと～

森や林は今、環境や資源だけでなく心身に与える「ちから」にも注目が集まっている

講師（財）北海道開発協会  
主任研究員 草薙健氏

**9回目** 1月16日（土）13：30～15：30 520研修室

テーマ「地域医療」

～明日からできる予防医療～

高齢化社会における健康づくりや医療のあり方の提言

講師 医療法人財団 夕張希望の杜  
理事長 村上智彦氏

**10回目** 1月25日（月）13：30～15：30 520研修室

テーマ「機能性食品と予防医療」

～食生活で美容と健康を維持～

生活習慣病予防と食生活の関係、道産食材の健康効果と調理法を学ぶ

講師 東海大学  
副学長 西村弘行氏

◆「ほっかいどう学」は、北海道の現在を見つめ、過去を知り、未来のあり方を考える協働の学びです。

申込み・問い合わせ先

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7（9階）

（財）北海道生涯学習協会に電話・FAX・はがき等で申し込んでください。

TEL：011-231-4111（内線36-343）／FAX：011-281-6664／Eメール：college@hsgk.jp

生きがいづくり生涯学習  
促進事業について

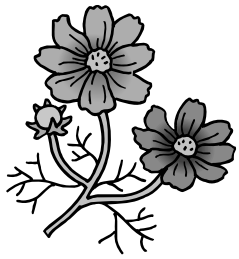
◎趣旨

高齢化、情報化等の社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために、講演やシンポジウムなどを中心とした学習の機会を、平成二十一年度は道内十管内で実施します。

◎開催月日及び場所

開催月日	開催地
11月8日	夕張市
11月23日	恵庭市
11月25日	上川町
1月19日	白糠町
1月21日	安平町
1月24日	蘭越町
2月	訓子府町
未定	苫前町
未定	陸別町
未定	木古内町

◎この事業は、道民カレッジの連携講座に指定されますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。



平成21年度「ほっかいどう学」ネットワーク推進事業  
「ほっかいどう学」実践講座

◎学習テーマ

「道民自身が現在住んでいる地域について、過去を知り、未来のあり方を考える」  
～培われた知識と能力を生かし地域づくりに寄与する～

◎参加料 1,000円 (資料代含む)

開催圏域	道央圏		オホーツク圏	根釧圏	道北圏	道南圏	十勝圏
開催期日	平成21年10月3日 13:00~16:00	平成21年12月12日 13:00~16:00	平成21年9月6日 10:00~15:30	平成21年8月23日 10:00~15:30	平成21年9月27日 10:00~15:30	平成21年8月30日 10:00~15:30	平成21年9月13日 10:00~15:30
会場	札幌市 (かでの2・7)	札幌市 (かでの2・7)	北見市 (芸術文化ホール)	釧路市 (市生涯学習センター)	旭川市 (旭川大女子短期大学部)	函館市 (市勤労者総合福祉センター)	帯広市 (道新ビル)
参加者数	100人	100人	100人	100人	100人	100人	100人
講師	ノンフィクション作家 合田 一道氏 郷土史研究家発表 森山 祐吾氏 津田 光輝氏	東北芸術工科大学大学院長 赤坂 憲雄氏 地域学実践者 (2人を予定)	ノンフィクション作家 合田 一道氏 北海道新聞編集委員 山本 牧氏	ノンフィクション作家 合田 一道氏 エコ・ネットワーク代表 小川 巖氏	ほっかいどう学を学ぶ会 顧問 江本 嘉敏氏 エコ・ネットワーク代表 小川 巖氏	ほっかいどう学を学ぶ会 顧問 江本 嘉敏氏 エコ・ネットワーク代表 小川 巖氏	ノンフィクション作家 合田 一道氏 エコ・ネットワーク代表 小川 巖氏
内容	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史文化」 ・実践事例発表 「近代科学技術の先駆者 福土成豊」 「秩父事件と北海道～井上伝蔵を巡って～」	・基調講演 (未定) ・実践事例発表 (未定)	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史・文化」 ・講義 「北海道の自然環境」	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史・文化」 ・講義 「北海道の自然環境」	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史・文化」 ・講義 「北海道の自然環境」	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史・文化」 ・講義 「北海道の自然環境」	・基調講演 「古文書に見る北国の歴史・文化」 ・講義 「北海道の自然環境」
協力	本部ボランティア	本部ボランティア	オホーツク圏ボランティア	根釧圏ボランティア	道北圏ボランティア	道南圏ボランティア	十勝圏ボランティア
評価	①各圏域の地域課題やニーズを踏まえ、本道の歴史や文化、自然環境や健康等を学習テーマにしたことにより「ほっかいどう学」の構築を図ることができる。 ②地域住民自らが地域づくりの実践につながるよう期待できる。 ③各圏域のボランティアの関わりによりネットワーク型のカレッジが期待できる。						

随想⑩

「市民の考古学」

私が大学・大学院・教員時代にお世話になった藤本勉先生が一冊の本を出版された。それは『日本列島の三つの文化』と題するものである。先生は以前に『もう二つの日本文化』という本を出されている。その本は大変な人気となったもので、考古学研究者以外の方々からも評価が高いものであった。つまり、北海道中心の「北の文化」と本州中心の「中の文化」と沖縄中心の「南の文化」があるというもので、一般的に本州の「中の文化」で日本の歴史を考えるとという風潮に対する警告ともいえるのである。そしてこの北・中・南の文化のそれぞれの中間地帯には「ボカシの文化」が存在することも指摘しており、大変ユニークな内容となっている。

ところで、最新の『日本列島の三つの文化』であるが、それは以前の本の改訂版であると同時に、「市民の考古学」シリーズとして出版され、文字通り一般市民向けに出されたものである。そこに別々の大きな意義が見出されるのである。このシリーズは同成社という出版社から出されているが、七巻目がこの本である。藤本先生は他にこのシリーズで、『ごはんとパ

ンの考古学』『都市と都城』『考古学でつづる世界史』をすでに上梓している。短期間に何冊もの本を次々と出版されるその力の源はどこにあるのであろうか。

実は先生は、福島県文化財センター白河館(愛称まほろん)の館長でもあり、その館長講演会が年六回ずつ行なわれ、それぞれの内容を本にまとめて出版されているのである。しかもその講演会是一般市民が対象であるので、「市民の考古学」シリーズとなっていることに評価を与えたいのである。

考古学関係者に限らず各分野の研究者は、専門の論文を市民向けに紹介することをほとんど行わない。学問は専門家のものとして自己満足しているともいえる。それでは市民から遊離してしまう。そのことは私自身も考えているところであるが、先生のように上手にはいかないうち未熟さがある。以前に同出版社から『クマとフクロウのイオマンテ』という本を出させていただいたことが、目線を市民向けにしたもので、一応の成果があったと自負したい。これも生涯学習の一環と考えているところである。

(財)北海道生涯学習協会

会長 宇田川 洋

情報交流広場(まなびの広場)

展示コーナーのお知らせ

道民への学習情報の提供を体系的に行う「まなびの広場」を活用して生涯学習や普及啓発に関する情報の提供を行うとともに、道内各地域の生涯学習への取り組みについての紹介や成果等の発表の場とするため、参加市町村や団体に対し募集しました。今年度の参加団体による展示は左記になります。

(後期分)

- 九月・道民カレッジ「大学放送講座」  
大学放送講座実行委員会
- 十月・「現代押し花アート」
- 十一月・国立日高青少年自然の家  
・書と絵手紙サークル
- 十二月・スクラップブックングを楽しむ会  
・北海道教育庁生涯学習推進局
- 一月・ULAビーズ織工房  
「ときめき織」
- 二月・国立大雪青少年交流の家
- 三月・さつばろ花の会



〈大麻木版画同好会〉

新会員紹介

次の方々が新たに賛助会員になりました。今後ともよろしくお願いいたします。

・個人会員

- 日下 孝(札幌市)
  - 佐々木 一友(北広島市)
  - 遊 佐 克 行(札幌市)
  - 杉 本 昭 則(札幌市)
  - 浅 井 真 介(札幌市)
- (敬称は略させていただきます。)

編集後記

◇台風シーズン到来!本州の近畿、東海地方等で猛威をふるう。そして震度六弱の地震。これらによる被害は甚大です。

◇今年も協会主催の「かである講座」がスタートします。

世相を反映?してか、興味関心を抱かせる講座ばかりです。笑顔の効用、音と気、森林浴の効能など過去にはなかった講座が計画されています。

特に札幌コンサートマスターの大平まゆみ氏による講演は楽しみです。

たまには、生の演奏を聴くのもいいのではないのでしょうか。